

一緒に始めませんか、あなたの挑戦も応援します！ ～共に創る これからのふくろい～

発行日：令和4年6月23日
発行者：袋井市企画政策課

学校プールのあり方 × 市営プールの活用

課題解決に向けた実証事業(指定管理者:室内温水プール/専門人材)



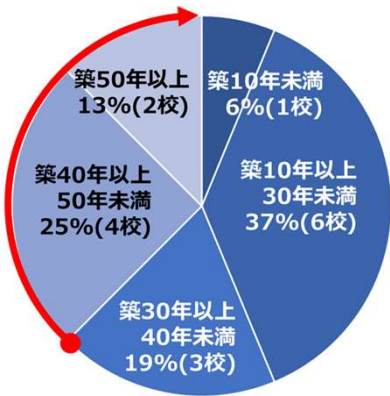
学校プールが抱える3つの課題

- (1)施設の老朽化進行に伴う維持管理コストの増大
- (2)プール稼働率の減少による子どもの泳力維持
- (3)熱中症、日焼け、落雷等の危険性

2022. 6. 13@月見の里学遊館

<学校プールの老朽化>

築40年以上が約4割 市内6校
一番古いものは浅羽南小の築55年



<学校プールの管理コスト(試算)>

従来どおり建替え、維持管理を行うと…
年間約7,200万円の費用を要する

区分	年平均LCC	1時間当たりコスト
小学校(12校)	5,000万円/年	2.8万円/h
中学校(4校)	2,200万円/年	1.3万円/h
合計	7,200万円/年	2万円/h

※LCC(ライフサイクルコスト)とは
建物の設計・工事費等のイニシャルコストから、建物を使うために必要な光熱水費、管理費、消耗品費、修繕費等のランニングコスト、更に最終的な解体費を含めたすべての生涯費用

<学校プール年間使用状況>

- ・近年の水泳授業
10単位時間/クラス
- ・熱中症予防や運用の見直しにより
プール開放は減少



学校プールの在り方検討(課題解決)に係る試行実証

市営温水プールの利活用は、より良い指導やコスト削減の実現に繋がるか？

【活用する市営温水プール】

・月見の里学遊館、袋井B&G、風見の丘 3施設

【取組概要】

- ・インストラクターが専門的指導の補助
- ・送迎は、「袋井市児童送迎バス」などで支援
- ・1回の水泳授業は2～3単位時間で実施
- ・市営プールの使用期間は5月から10月を想定
- ※部活動のある中学校は既存学校プール使用



バス移動



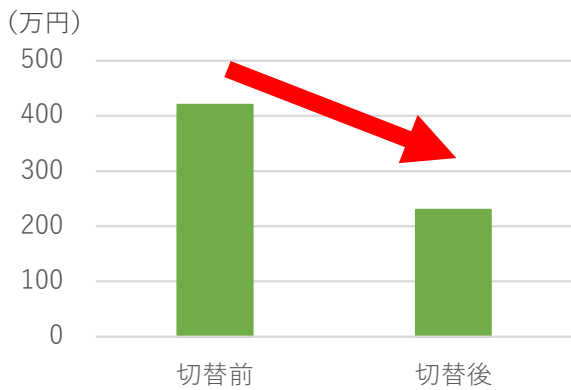
水泳授業(低学年)



水泳授業(中学年)

移動 (約15分)	着替え (約15分)	水泳授業 (約45分)	着替え (約20分)	移動 (約15分)
--------------	---------------	----------------	---------------	--------------

市営プールを活用した場合の財政効果(試算)



1校当たり年間
約190万円

約45%の
削減効果



【老朽化した小学校1校を切替えた場合】

切替前	切替後	③切替後差額 (円/年) (①-②)
①学校プールLCC (円/年)	②バス・インストラクター 委託料(円/年)	
420万円	230万円	190万円

(実証事業に関する事前アンケート結果) ~抜粋~

Q)水泳授業について、バス移動により市民プールを使用し、インストラクターが指導する場合に考えられる利点・効果は何ですか。

- ・インストラクターの指導により**専門的な知識、技能を身に付けることができ、短時間で効率的な授業**ができる(教員の指導力も向上)。
- ・教員とインストラクターが指導にあたることで**安全の確保**に繋がる。
- ・専門家が管理する設備を利用することで、**プールの水質や設備の安全性や安定性が確保**される。
- ・屋内プールのため、天候に左右されず**熱中症の心配が軽減**できる。
- ・温水プールの利用により夏期に限定されないため、**授業を平準化**できる。
- ・プールの維持管理がなくなるため**教員の負担が軽減**される。



Q)水泳授業について、バス移動により市民プールを使用し、インストラクターが指導する場合に考えられる問題点は何ですか。

- ・移動の時間の確保のため2時間続きで行うと**授業変更の調整**が難しい。
- ・人数が多いため、一斉に移動するか、数回に分けるか、**バスの調整**が必要となる。
(例)バスの台数、停留箇所など
- ・**不特定多数が利用する施設を利用することに不安**がある。
(例)防犯面、新型コロナウイルス感染症対策など
- ・**市営プールは深い**ため、児童は使用できないのではないか。

